

## 中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
<b>【法人名】</b> 埼玉新都市交通株式会社	目標	安全確実な運行「事故ゼロ」	単年度収益の改善	将来の設備更新を賄える自立した財務基盤の確立	
		毎年度無事故	当期純利益の令和4年度からの黒字化を目指す。	令和6年度末に利益剰余金・15億円台を確保	
	各年度の実績	<b>【令和2年度実績】</b> 0件	<b>【令和2年度実績】</b> 当期純利益 △599百万円	<b>【令和2年度実績】</b> 繰越利益剰余金 1,764百万円	
		<b>【令和3年度実績】</b> 0件	<b>【令和3年度実績】</b> 当期純利益 △84百万円	<b>【令和3年度実績】</b> 繰越利益剰余金 1,680百万円	
<b>【中期経営計画の期間】</b> 令和2年度～令和6年度	法人による自己評価	・全社員が安全・安定輸送を最大の使命と認識し、列車脱線事故の再発防止を含めた「鉄道運転事故ゼロ」を達成していく。 ・併せて、老朽設備の計画的な更新を実施するとともに、災害対応力の強化やヒューマンエラーによる事故等の防止に取り組むことにより、安定した輸送を確保していく。	・当期純利益は、新型コロナウイルスの影響により営業収益が減少していることから、令和3年度までマイナスと見込んでいる。 ・中期経営計画(改訂)では、旅客収入の回復に加え業務の効率化や経営改善に取り組み、令和4年度からの黒字化を目指すこととしている。	・新型コロナウイルスの感染拡大を契機に鉄道利用者が減少し、2年連続で赤字となるなど厳しい経営状況が続いている。 ・中期経営計画(改訂)に掲げる重点施策等の実施により収益の確保と経営改善に取り組み、将来の設備更新を賄える財務基盤の確立を目指す。	